

# 「新潟県中越地震復興メモリアルコース」アンケート調査結果【要約】

## 1. 「被災地視察会」について

**箇所数(9箇所)については約半数、実施時間(9時間)については7割が「適当」。**

- ・箇所数が「多い」とする参加者(「多い」+「少し多い」)は44.6%。具体的には、7~8箇所が適当とする意見が多い。
- ・実施時間が「長い」とする参加者は12.5%。具体的には5~6時間(21.4%)、7~8時間(10.7%)が適当とする意見が多い。

**視察会への参加理由は「調査研究活動」、「仕事関連の情報収集」が多い。**

- ・参加理由は「調査研究活動として」が最も多く44.6%、次いで「仕事関連の情報収集」が28.6%。「個人的に興味があったので」参加した人は19.6%。

**7割が視察会の見学内容は「適当である」と回答。**

- ・見学内容については「適当である」が69.6%。「周らないほうがいい場所があった」が17.9%、「もっと別の被災地跡を見学したかった」が12.5%となっている。

**「直接現地を見られたので良かった」との感想が多い。**

- ・「直接現地を見られたので良かった」「視察を今後の支援に生かしたい」など視察会へ参加したことに満足したとする意見が多い。
- ・一方、「もっと詳しく見学したかった」「被災者の話が聞きたかった」「説明が足りなかった」などの意見・要望もあげられている。

## 2. 「新潟県中越大震災メモリアルコースマップ」について

**箇所数、移動時間ともに7割前後が「適当である」と回答。**

**6割が、紹介している被災地は「適当である」と回答。**

- ・紹介している被災地(5箇所)は「適当である」が62.5%で最も多い。また、「紹介スポット数を増やした方がよい」は14.3%、「もっと別の被災スポットを紹介して欲しい」が10.7%となっている。

**約3分の2が、スポット紹介文は「良い」、地図情報は「適当である」と回答。**

- ・紹介文の内容に関しては「良い」が64.3%、「もっと詳しく書いたほうがよい」が16.1%。
- ・地図情報に関しては「適当である」が69.6%、「情報を追加したほうがよい」が19.6%。

**デザインは、回答者の大部分が「適切」「見やすい」と評価。**

**「スポットの説明内容の追加・改善」を指摘する意見がみられる。**

- ・「被災スポットの説明内容の追加・改善」の必要性を指摘する意見があげられており、次に多い意見が、「ビジュアル表現の改善」。

「新潟県中越地震復興メモリアルコース」

アンケート調査の結果

平成17年5月9日

山古志復興新ビジョン研究会

## 1. 調査目的

中越地震復興メモリアルコースを検討し、来訪者へ配布する地図を作成するにあたって、被災地視察会参加者の意見を聴取し、参考資料とする。

## 2. 調査対象

### 被災地視察会(平成17年4月24日)参加者

4月22日(金)～23日(土)に開催された新潟県中越地震産官学リレーシンポジウム主催・後援団体の関係者

#### 被災地視察会行程

- 08:50 長岡駅東口集合
- 09:30 長岡市高町団地(30分) ……高台にある新興住宅地土砂崩落
- 10:00 長岡市濁沢/太田(30分) ……山間の集落に土砂災害
- 11:30 小千谷市浦柄(15分) 妙見土砂崩落現場
- 12:00 旧山古志村 竹沢地区(昼食休憩1時間) 旧山古志村役場周辺
- 13:30 川口町役場/川口地区(30分) 川口町商店街の町並
- 14:20 川口町田麦山地区(25分) 住宅全壊が9割の地区
- 15:15 小千谷市内(15分) 小千谷市本町など～総合産業会館サンブラザ
- 15:45 小千谷市千谷運動公園(30分) 旧山古志村仮設住宅
- 17:00 長岡市ニュータウン(30分) 旧山古志村仮設住宅
- 18:00 長岡駅解散

## 3. 調査方法

質問紙による自記入式のアンケート調査(その場で配布・記入 回収)

## 4. 調査時期

平成17年4月24日(日)

## 5. 有効回収数

56票

## 6. 回答者属性

<性別>	男性:49人(87.5%)	<居住地域>	-新潟県内 :26人(46.4%)
	女性:7人(12.5%)		-北陸(新潟県以外):2人(3.6%)
<年齢>	20代 :6人(10.7%)		-関東 :21人(37.5%)
	-30代 :9人(16.1%)		-近畿 :5人(8.9%)
	40代 :8人(14.3%)		-その他 :2人(3.6%)
	50代 :8人(14.3%)	<会社員>	-会社員:18人(32.1%)
	60代 :22人(69.3%)		-自営業:5人(8.9%)
	70代以上:3人(5.4%)		-公務員:2人(3.6%)
			-学者・研究者:12人(21.4%)
			-学生:5人(8.9%)
			-無職:2人(3.6%)
			-その他:12人(21.4%)

# 1. 「被災地視察会」について

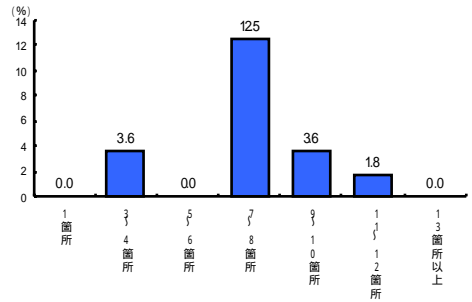
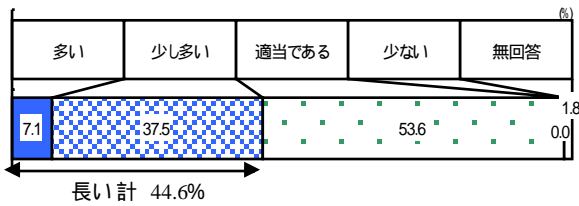
## (1) コースの箇所数と実施時間について(Q1)

箇所数については約半数、実施時間については7割が「適当である」と回答。

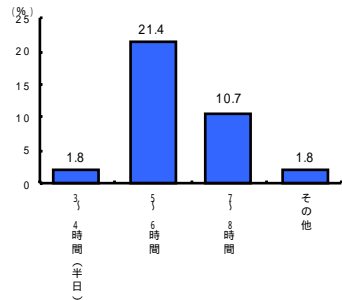
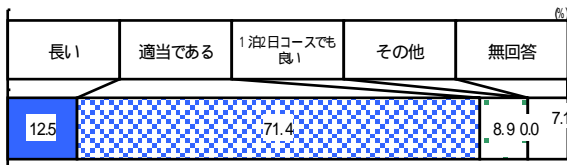
- ・箇所数が「多い」とする参加者(「多い」+「少し多い」)は44.6%。具体的には、7~8箇所が適当とする意見が多い。
- ・実施時間が「長い」とする参加者は12.5%。具体的には5~6時間(21.4%)、7~8時間(10.7%)が適当とする意見が多い。

Q1. 被災地9箇所を1日で周りましたが、箇所数と時間は適当でしたか。  
 また、被災地9箇所を1日で周りましたが、箇所数と時間は適当でしたか？(SA)

箇所数について [N=56]



実施時間について [N=56]



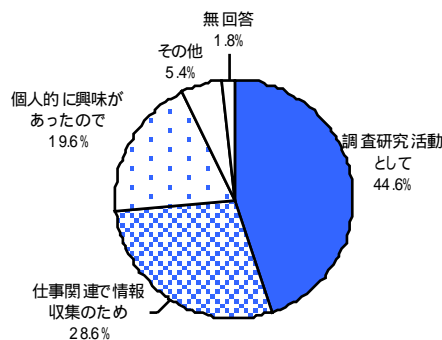
## (2) 視察会への参加理由(Q2)

### 視察会への参加理由は「調査研究活動」、 「仕事関連の情報収集」が多い。

- ・参加理由は「調査研究活動として」が最も多く44.6%、次いで「仕事関連の情報収集」が28.6%。
- ・「個人的に興味があったので」参加した人は19.6%。

Q2. 今回の被災地視察会への参加理由をお聞かせください(SA)

視察会への参加理由 [N=56]



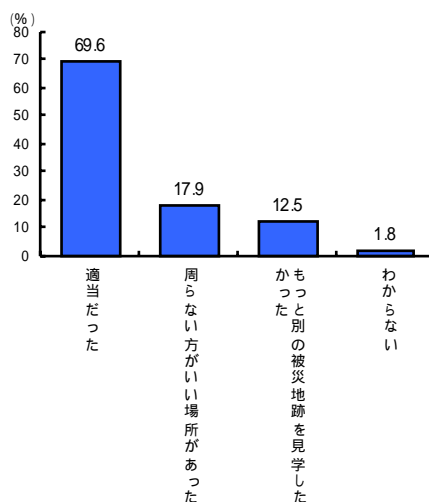
## (3) 視察会の見学内容(Q3)

### 7割が視察会の見学内容は「適当である」と回答。

- ・見学内容については「適当である」が69.6%。
- ・「周らないほうがいい場所があった」が17.9%、「もっと別の被災地跡を見学したかった」が12.5%となっている。

Q3. 見学内容は適当でしたか。(SA)

視察会の見学内容について [N=56]



【「周らないほうがいい場所」の意見】

- ・妙見の土砂崩落現場
- ・小千谷市内
- ・仮設住宅はひかえたほうがいい など

【「別の被災地跡」の意見】

- ・三仙生から見た妙見の崩落現場
- ・山古志の東竹沢地区
- ・中山隧道
- ・芋川流域
- ・山古志の木籠地区
- ・河道閉塞

## (4) 視察会の感想(Q4)

### 「直接現地を見られたので良かった」との感想が多い。

- ・「直接現地を見られたので良かった」「視察を今後の支援に生かしたい」など視察会へ参加したことに満足したとする意見が多い。
- ・一方、「もっと詳しく見学したかった」「被災者の話が聞きたかった」「説明が足りなかった」などの意見・要望もあげられている。

**視察会の感想** [N=56] Q4: 今回の被災地視察会に参加して、お気づきの点や感想をお聞かせください(OA)

#### ・直接現地を視察できて良かった(6件)

TV等で見る情報と直接見るのでは同じ場所でも印象も違うし、理解度も違う。山古志の状況、川口の状況が直に見れてよかった。
直接その後の現地を見ることが出来て良かった。
2日間のシンポジウム+見学会(4月22~24日)と内容の濃い3日間だった。現地で肌で感じないとわからない。
非常によかった。
1日で主要ポイントを網羅し、また案内してもらってありがたかった。効率的だった。先生の辛口コメントも極めて要領よくありがとうございました。
主要な被災地を見学できて非常に良かった。自分の目で被災地の現状を見て、これから何かの支援活動に参加することが出来ると思う。

#### ・見学時間を長くしてほしい、もっと詳しく見たかった(4件)

まわる所をもう少し減らして、いくつかの見学時間を長くした方がよいと感じました。
もう少し時間をかけて見て歩き、話をしたかった。
建物の被災状況がもう少し詳しくわかるとありがたいですが、全体としてはこんなものかと感じます。昼休みをつかって山古志等はオプションで詳細に見ることができるとよいのですが。
特に、山古志・田麦山の見学時間が短かったのが残念。

#### ・視察を今後の支援に生かしたい、生かしてほしい(3件)

皆さんが熱心に望まれた姿はスバラシイ。今後の活動に是非生かして頂きたいと望んでいます。
お年寄り家族で被災された方で、家の復旧に資金の目途がたたない方は大変であり、支援の方法がないものか検討したい。
主要な被災地を見学できて非常に良かった。自分の目で被災地の現状を見て、これから何かの支援活動に参加することが出来ると思う。

#### ・専門家の説明が参考になった(2件)

現場をこまめにまとめて専門家のコメントつきで見ることがなかったので大変参考になりました。どうもありがとうございました。
1日で主要ポイントを網羅し、また案内してもらってありがたかった。効率的だった。先生の辛口コメントも極めて要領よくありがとうございました。

#### ・被災者の話が聞きたかった(2件)

現地の人たちの話が聞ければ良かった。
避難民の方へのインタビューがしたかった。雪が問題を見えなくしていた。

#### ・説明が物足りなかった(2件)

大変だと思いますが、視察先についての説明がもう少しあれば助かります。十分満足ですが。
被害当時から現在の状況を案内できる人がいた方がいい。

#### ・その他(5件)

服装は作業衣が良いのでは。
見学時間の変動が気になりました。
仮設住居の視察を大勢で行くのは、住人にとって負担になると思います。
新幹線の脱線現場に目印をつける、川口町の上の山に"滝"ができてい、などの震災ポイントを新しく発掘する。
桜が満開で青天温暖な一日でよかった。雨の時はどうなるかが心配ですね。

## 2. 「新潟県中越大震災メモリアルコースマップ」について

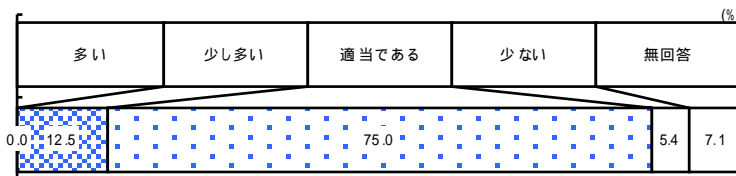
### (1) コースの箇所数と移動時間について(Q5SQ1)

箇所数、移動時間ともに7割前後が「適当である」と回答。

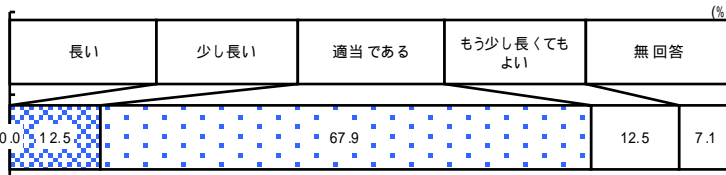
- ・箇所数は(5箇所)については、75.0%が「適当である」としており、「少し多い」(12.5%)、「少ない」(5.4%)との意見は少数。
- ・移動時間(1時間20分)については、67.9%が「適当である」としており、「少し長い」(12.5%)、「もう少し長くてもよい」(12.5%)との意見は少数。

Q5SQ1.箇所数とコース時間の設定についてお聞きます(SA)

箇所数について [N=56]



移動時間について [N=56]



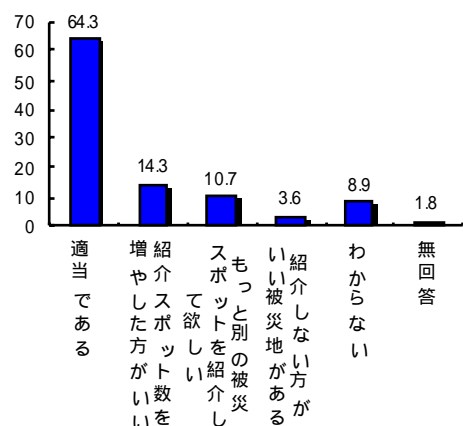
### (2) 紹介している被災地について(Q5SQ2)

6割が、紹介している被災地は「適当である」と回答。

- ・紹介している被災地(5箇所)は「適当である」が62.5%で最も多い。
- ・「紹介スポット数を増やした方がよい」は14.3%、「もっと別の被災スポットを紹介したい」が10.7%となっている。

Q5SQ2.紹介している被災地についてお聞きます(MA)

紹介している被災地について [N=56]



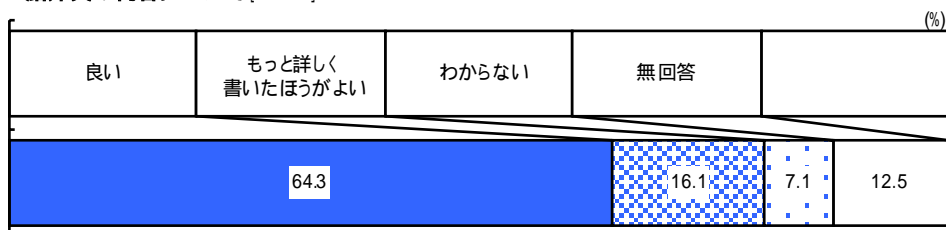
### (3)被災地の紹介内容について(Q6)

約3分の2が、スポット紹介文は「良い」、地図情報は「適当である」と回答。

- ・紹介文の内容に関しては「良い」が64.3%、「もっと詳しく書いたほうがよい」が16.1%。
- ・地図情報に関しては「適当である」が69.6%、「情報を追加したほうがよい」が19.6%。

Q6SQ1/SQ2.被災地別の紹介文/地図情報についてお聞きします

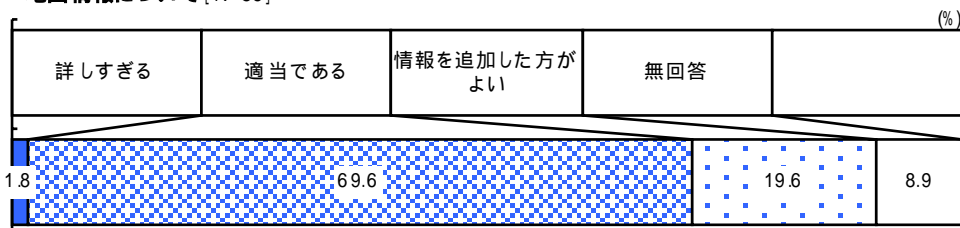
紹介文の内容について [N=56]



【「具体的に必要な情報や分野」の意見】

- ・説明文を工夫した方がよい。 知事～はいらない。
- ・写真はもう少し工夫が必要。特に
- ・主な自身の日付・時間・施工・被害状況など時系列に。
- ・地質
- ・被災戸数、状況
- ・建物の被災状況を典型例で入れてください。(写真も)

地図情報について [N=56]



【「追加した方がよい情報」の意見】

- ・地形がわかるように
- ・主要交差点があると良いかもしれません。
- ・写真スポット位置
- ・一枚スケールの大きいもの
- ・橋梁名、妙見堰
- ・道路
- ・集落拡大図
- ・トイレなど
- ・巡回したコースを太線にしたらいいと思ふ。



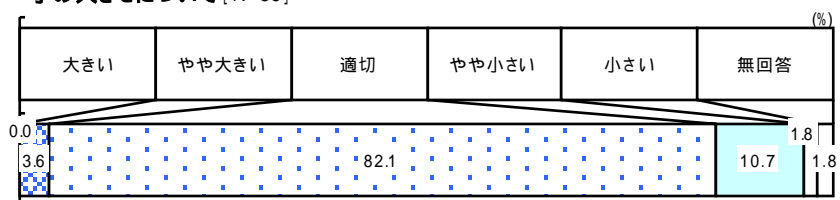
## (4) マップのデザインについて(Q7)

### 回答者の大部分が「適切」「見やすい」と評価。

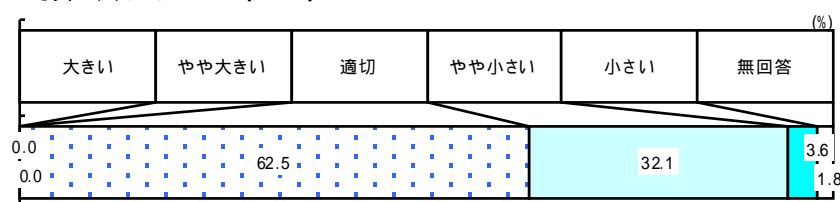
- ・字の大きさは、82.1%「適切」がと回答しており、「やや大きい」(3.6%)、「小さい」計(「やや小さい」+「小さい」:12.5%)を大きく上回る。
- ・写真の大きさは、62.5%が「適切」と回答しているが、3人に1人が「小さい」計(35.7%)と回答している。
- ・地図の大きさは、80.2%が「適切」と回答しており、「やや大きい」(7.1%)、「小さい」計(10.7%)を大きく上回っている。
- ・地図の色遣いは、73.2%が「見やすい」計(「見やすい」+「やや見やすい」)と回答しているが、2割弱(17.9%)が「見にくい」計(「やや見にくい」+「見にくい」)と回答している。

Q7.このマップのデザインについてお聞きます

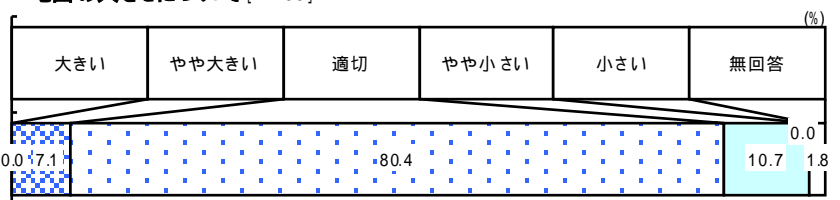
字の大きさについて [N=56]



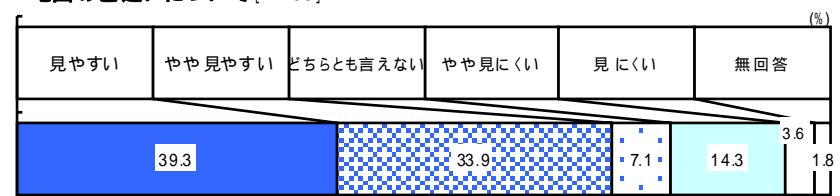
写真の大きさについて [N=56]



地図の大きさについて [N=56]



地図の色遣いについて [N=56]



## (5) マップの改善点など (Q8)

### 「スポットの説明内容の追加・改善」を指摘する意見がみられる。

- 「被災スポットの説明内容の追加・改善」の必要性を指摘する意見があげられており、次に多い意見が、「ビジュアル表現の改善」。

Q8.「新潟県中越大地震復興メモリアルコースマップ」について、気づいた点や改善点を自由にお書きください。

#### ・被災スポットや地図の説明内容を改善・情報を追加する（6件）

山間地ならではのメリット・デメリットを教えて欲しい。対象としている人によって、欲しい情報がちがうのでは。  
 受盤、流盤による被災の傾向などの説明等を盛り込んだ方が良い。  
 各項目のトーンを合わせる。長岡、小千谷、魚沼市境界をハッキリと。（川口町役場周辺被災地）でライプラインの持場を。（本震の震源付近）で道路公園、JRも入れる。  
 なかなか分かりやすく良いと思います。山古志重視はわかりますが、他の行政単位も分かるといいですね。  
 造形大の位置。県立歴史博物館、県立近代美術館。  
 A4版サイズで両面を利用すること。主要な橋梁名を記入すること。

#### ・ビジュアル表現を改善する（3件）

字体にメリハリがあるとよい（全てゴシックは読みづらい）。強調すべき情報以外はトーンを落とした方がよい。  
 同じ位置からの写真を並べて復旧の状況把握をしてはどうですか。  
 （妙見の災害現場）、（東滝沢地区の可動閉塞）についてもう少し映像がはっきりしていると尚よかったと思う。

#### ・中越地震の全体的な説明・データを掲載する（2件）

両面印刷が可能なら、地震と被災に関する基本データ、簡単な説明があると良いと思います。  
 「中越大地震」についての一般説明が必要（今回が5回目の被災地ツアーでした）。

#### ・情報量が多すぎる（2件）

地図に多く情報が載りすぎている気がします。削るところは削ったほうがもう少し見やすいかも。  
 情報量が多すぎてわかりにくい。もっとシンプルにし、わかりやすく。

#### ・両面を使用すべき（2件）

裏面も使った方がよいのでは。  
 A4版サイズで両面を利用すること。主要な橋梁名を記入すること。

#### ・メモリアルコースを見直すべき（2件）

拠点を山古志において、山古志を支援しようということであるが、メモリアルコースが広範で目的・旨等が少し薄められてしまわないか。  
 現時点の復興ルートマップとして、コースを見直した方がよい。山古志内は通行できないため。

#### ・その他（4件）

参加者の意見を取り入れ改訂していく。  
 「メモリアル」というタイトルが誤解を起してしまう可能性がないわけではないと思いました。  
 Webの最新情報とリンクできるような仕組みがあると良いですね（携帯などでアクセス）。  
 「お客さん」をどんな対象とするかによってずい分違ってくると思います。神戸でも各地、各団体が中学生の修学旅行の受け入れを行っていますが、くらしとそこで住んだり働いている人（商店街の人たちなど）との交流をプログラムに入れていきます。中越でもそれは不可欠ではないでしょうか。

# 1.新潟県中越大震災復興メモリアルコース

## コアコース「中越地震を振り返る防災学習コース」

新潟県中越大震災復興メモリアルコースとは、中越地震の被災経験を全国・次代へと語り継ぐために、震源地周辺の被災跡を回ることができる防災学習コースです。都市型の震災とは違う「中山間地域」で起きた地震災害、被災スポットを見学し、復旧・復興の様子をご覧ください。

### 3 妙見の災害現場

長岡市妙見町の一般県道589号において岩盤崩落が発生。2005年2月15日時点でも全面通行止となっている。また、車ごと生き埋めになっていた母子3人のうち、男児1人が救出されたことでも注目を集めた。  
■所在地:長岡市妙見町  
■管理団体:新潟県



妙見の災害現場(04.10.31)

信濃川右岸の県道沿いの斜面が約200mの幅で崩壊(04.11.1)

### 2 川口町役場周辺被災地

越後川口ICから川口町役場の間は通行が至る所で規制され、道路の亀裂、陥没が頻繁に見られた。JR越後川口駅東側は斜面が隣接し、斜面崩壊が多数確認された。川口駅前中心部は、JR越後川口駅から信濃川に向かい繁華街となっており、その周辺は軒並み全壊あるいは半壊した家屋や商店が確認された。  
■所在地:川口町川口  
■管理団体:川口町



川口町中心部の家屋倒壊(04.10.28)

川口町天納地先 JR上越線脇の国道17号で道路崩壊(04.10.26)

### 1 本震の震源付近(川口町和南津地区)

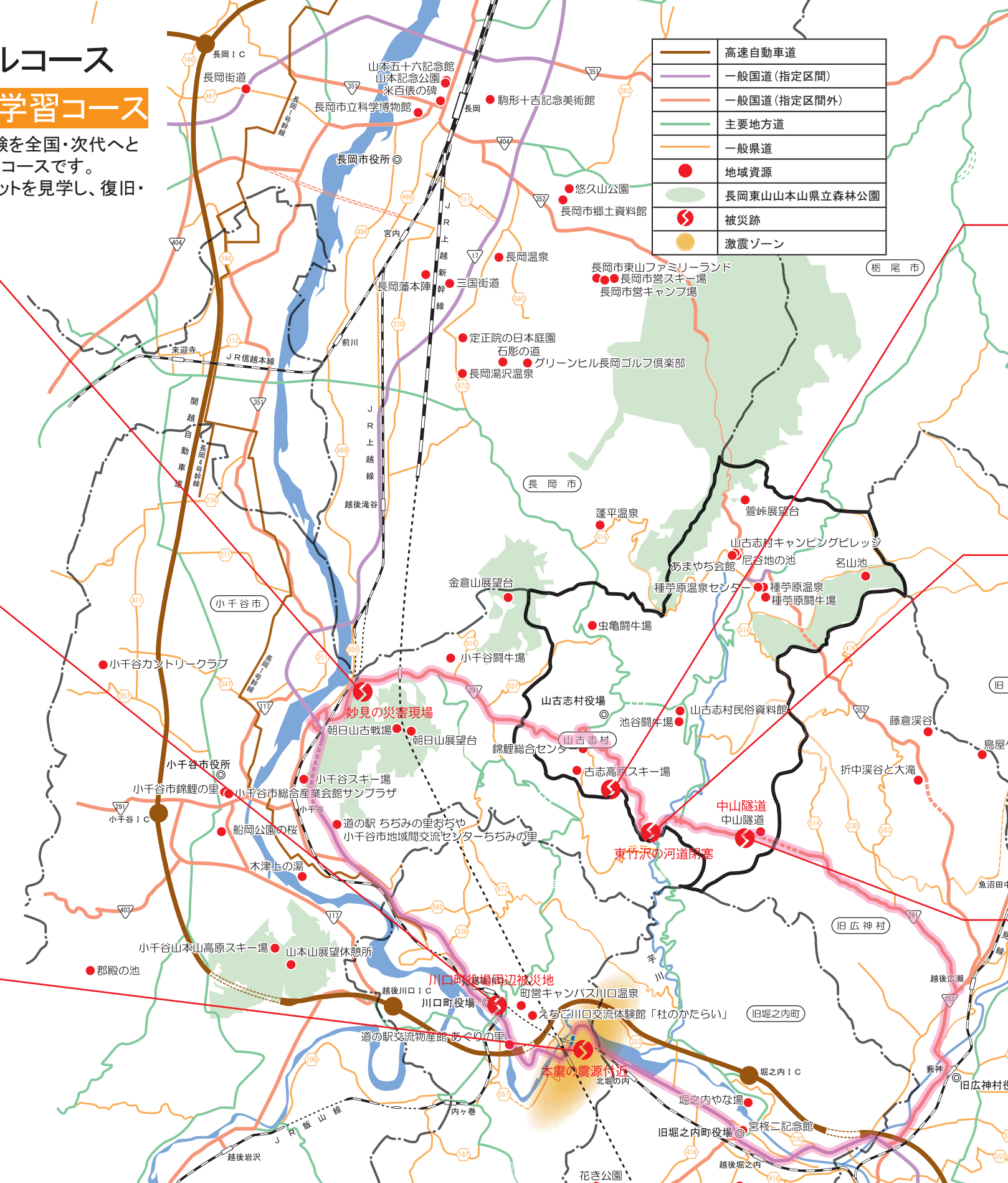
和南津地区は「激震ゾーン」に含まれており、特に木造構造物が大破や倒壊などの大きな被害を受けた。また、和南津トンネルでは覆工コンクリート剥離等の損傷が発生し、通行止めが続いた。11/2に片側交互通行で開通、12/26に片側交互通行規制解除。2車線で通行可能となった。さらに、上越新幹線和南津橋梁付近の高架脚部も損傷を受けた。  
■所在地:川口町和南津  
■管理団体:国・JR・川口町等  
■現在の復旧状況・予定:  
トンネルと橋脚は復旧済み



大規模な道路亀裂が発生(04.11.2)



国道17号川口町和南津トンネル損壊(04.10.26)



### 4 国道291号(長岡市古志)の土砂崩落

国道291号の旧山古志村竹沢地区では大規模な土砂崩落等が発生した。特に被害の大きい竹沢-梶金地区の約1kmは、新たなトンネル工事で復旧される。  
■所在地:旧山古志村  
■管理団体:新潟県→国



長大な亀裂と陥没(04.11.18)



土砂崩落で寸断された道路(04.11.5)

### 5 東竹沢地区の河道閉塞

芋川左岸の大規模な地すべり性崩壊で河道が閉塞。2004年11月2日、新潟県知事からの要請を受け、5日に寺野地区・東竹沢地区の2箇所での河道閉塞対策について直轄砂防事業として実施することを決定した。  
■所在地:旧山古志村寺野  
■管理団体:新潟県→国



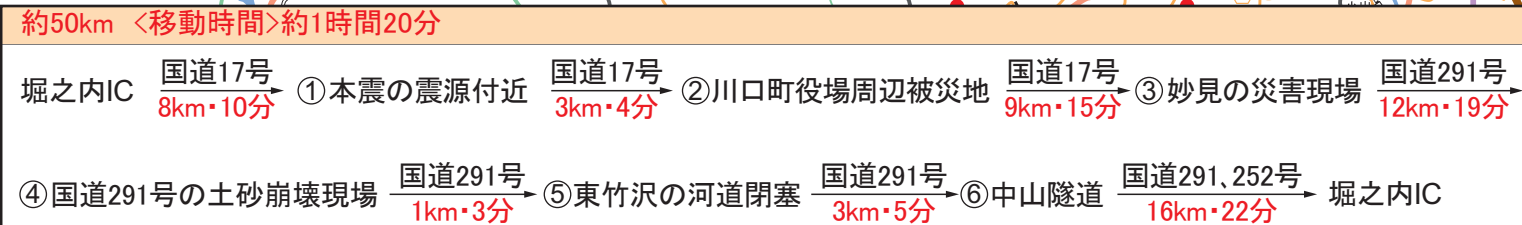
木箆集落25世帯中、14世帯が浸水した(04.12.16)

### 6 中山隧道

全長877mに及び、人の通行する手堀の隧道としては日本一といわれ、今でもツルハシの跡が残り、先人達の偉大な功業が伝わってくる。昭和8~16年(9年間)。開通昭和16年。今回の地震にあっても被害はなかった。  
■位置:旧山古志村大字東竹沢字小松倉  
■アクセス:小千谷ICから車で35分



中山隧道



※時間は平成11年度道路交通センサス平日旅行速度を基に概算

お問い合わせ  
(社)北陸建設弘済会  
建設振興会議NPO研究委員会  
TEL:025-381-1160